

# かなめ いし い けい いち 自公連立の要役 石井啓一



特徴その1

洋服の仕立て屋を営む家庭で育った庶民派。  
**現場第一の気さくな人です。**

- ▶ まじめにコツコツと仕事をする父の背中を見て育ち、「庶民が幸せに暮らせる社会」をめざし政治の道へ。
- ▶ 政治家として30年。課題を解決するまで、現場をとことん歩く人。

特徴その2

歴代最長の国交大臣。インフラに強い実力派。  
**この地域にピッタリな即戦力です。**

- ▶ 建設省(現・国土交通省)に12年間勤務し、道路や橋などのインフラ整備の現場で活躍。
- ▶ 歴代最長(在任3年11カ月)の国土交通大臣を務めた。22兆円規模の防災・減災政策の推進役。
- ▶ インフラ政策は政界随一。大臣時代に「三郷流山橋有料道路」を事業化。11月26日に開通。
- ▶ 草加市、八潮市、三郷市の課題である治水対策、渋滞緩和、鉄道網整備の「即戦力」。

【略歴】党幹事長。同埼玉県本部顧問。元国土交通相。党政務調査会長、同青年局長などを歴任。旧建設省道路局課長補佐を経て衆院当選10回。豊島区生まれ。東京大学卒。65歳。

## 首都圏の課題解決へ連携を強化

石井啓一さんの出身地である豊島区は、私の衆院議員時代の地元です。人、街ともに深いご縁があります。石井さんといえば、歴代最長の国土交通大臣で、防災・減災対策やインフラ整備への見識に大変定評があります。首都直下地震の備えとして、東京と埼玉の連携強化はさらに重要になります。また、つくばエクスプレスなどの鉄道網の整備は首都圏の活性化に欠かせません。石井さんは、こうした政策を着実に前に進められる方です。



東京都知事  
**小池百合子**



右から木下県議、石井、自民・木村忠義市議

## 自公連携で早速、動きました!

### 30年来の課題 草加市内の渋滞解消へ

国道4号と県道104号が交わる草加市の谷塚仲町交差点。地元住民から30年来、渋滞課題が進んでいないことを聞いた石井啓一は、長年この課題に取り組んできた自民党の木下博信県議らと現地を視察(写真左)。交差点の県道側に右折レーンを設置できないかと、すぐに国交省や埼玉県と交渉を重ねた結果、速やかに道路予備設計へ取り掛かる方針を県が初めて表明。長年の課題解決へ一歩前進です。

## 私も石井啓一さんを応援します。



**坂本克己**

全日本トラック事業政治連盟最高顧問  
全国ハイヤー・タクシー連合会最高顧問



**高橋誠一**

全国賃貸管理ビジネス協会  
名誉会長



**似鳥昭雄**

(株)ニトリホールディングス  
代表取締役会長兼CEO



**根津嘉澄**

東武鉄道(株)代表取締役会長  
(一社)日本民営鉄道協会 元会長



**山内隆司**

大成建設(株)名誉顧問(元会長・社長)  
(一社)日本建設業連合会相談役(元会長)

石井啓一を励ます会  
代表世話人  
(五十音順)

石井啓一の各種SNSと公式ウェブサイト

公式ウェブサイト



LINEアカウント



石井啓一チャンネル



エックス(旧ツイッター)



<https://www.k1-ishii.com>

石井啓一

検索

# 地域課題を解決します。

## 草加市・八潮市・三郷市の

### 浸水を防ぐ治水対策を早急に実施します。

3市は綾瀬川、中川の流域に位置し、浸水被害のリスクが高い地域です。今年6月の豪雨でも、浸水被害が発生しました。自然災害が激甚化・頻発化する今、被害の防止・軽減へ、綾瀬川の排水ポンプの能力強化と、中川の水を江戸川に流す新たな放水路の整備へ、早急に手を打ちます。



綾瀬川→中川→江戸川へと流す放水路計画図  
(関東地方整備局ホームページより抜粋)

### TXの東京駅への延伸構想の具体化に全力。

八潮市、三郷市と秋葉原駅を結ぶ、つくばエクスプレス(TX)。東京駅までの延伸構想の具体化に全力を挙げ、将来的には、臨海部、さらに羽田空港までの延伸をめざします。これが実現すれば、通勤・通学圏の拡大が期待されるとともに、沿線地域の魅力が高まり、人口増加や経済活性化につながります。



つくばエクスプレスとその沿線に広がる高層マンション等の市街地

### 渋滞緩和へ早期の道路整備を推進。

東埼玉道路の外環八潮スマートICが完成すれば、草加・八潮工業団地から草加ICまでの所要時間を約29分短縮できるなど、渋滞緩和に大きな効果が期待されています。千葉県と三郷市を結ぶ都市軸道路を西に延長(三郷市～草加市)し、東埼玉道路へとつなげる構想についても、具体化に向けて取り組みます。



本年6月の意見交換会で都市軸道路の早期整備の要望を聞く齊藤鉄夫国交相

### 三郷流山橋有料道路の完成で渋滞緩和に期待。

公明党三郷支部も推進してきた三郷流山橋有料道路が11月26日に開通します。JR新三郷駅周辺からTX流山おおたかの森駅周辺を結ぶもので、現在30分程度かかる移動時間が10分程度短縮されると見込まれています。また、周辺橋梁で発生している渋滞緩和も期待されています。



三郷流山橋有料道路の建設現場を視察(本年6月)

### コンフォール松原をモデルにUR団地の再生で賑わいを創出

UR(都市再生機構)の旧・草加松原団地を建て替えし、子育て家庭からお年寄りまでの多世代が快適に暮らせる「コンフォール松原」へと再生する事業を一貫して後押ししました。同団地は、誰もが安心して暮らせる「地域医療福祉拠点」として位置付けられ、高齢者福祉施設の誘致や「生活支援アドバイザー」の配置が実現しています。

コンフォール松原への再生事業をモデルに、各地のUR団地を核にした地域の賑わいづくりへ、若者が入居しやすい家賃補助やリノベーションの支援に力を入れます。



多世代が快適に暮らせる団地と話題の「コンフォール松原」(草加市)

公明党三郷総支部(草加市、八潮市、三郷市)のエリアは東京都と千葉県に隣接する、首都圏の交通の要衝です。東京・千葉と連携しながら地域の課題の解決を図り、ネットワーク力で首都圏全体の活性化をめざします。

